

第40号

一般社団法人 日本音楽療法学会ニュース

発行 一般社団法人日本音楽療法学会

理事長 藤本 禮子 副理事長 土野 研治 副理事長 二俣 泉

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 HK浜松町ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337

新理事長・副理事長 ご挨拶

理事長
藤本 禮子

この度、日本音楽療法学会理事長に再選され、理事長として2期目を迎えました。理事長在任の1期、設立20年を迎えた学会が変革の時を迎えていることを実感し、少しずつ取り組んでまいりました。これからの2年間、この取り組みを続けてまいります。会員の皆様のご支援をよろしくお願い致します。

これまでの2年間、今後の2年間の取り組みについてお話し致します。

これまでの取り組み、まず第一は、音楽療法士の国家資格化です。昨年の学術大会でシンポジウムを開催し、その後、法文案の検討を続けてまいりました。第二は、資格制度検討特別委員会による「スーパーバイザー養成」です。音楽療法士の臨床の質の向上、自立・成長に向け講座を開始致しました(学会ニュース第38号参照)。第三の「音楽療法士の職能団体への検討」は、取り組みを始めたところです。今後継続してまいります。

加えて、「定款の見直し」、「学会の求める音楽療法士像」、「資格認定の一本化」などの検討をいたしました。「定款の見直し」は、1年間の集中的な作業を経て、2020年総会で承認され、一般社団法人としての学会の在り方をより明確にすることができました。「学会の求める音楽療法士像」「資格認定の一本化」は、継続審議となっております。

2月、新型コロナウイルス感染症拡大が始まりました。この結果、参加者が一同に会し、対面で行われる学会事業の中止・延期の措置、その他会員への対応などを行いました。一方、対面による音楽療法に替わるものとして遠隔音楽療法を紹介し、また対面による講習会に替わるものとしてWeb講習会の企画を開始しました。

8月2日、新型コロナウイルス感染症拡大の渦中、学会新体制はスタート致しました。

これからの2年間、第一の「音楽療法士の国家資格化」には更に力を注ぎます。「学会の求める音楽療法士像」、「資格認定の一本化」は、国家資格化に関連する事案として検討を進めます。そして、国家資格化の過程で求められている「音楽療法の必要性、専門性、有用性」の更なる明確化に力を注ぎます。第二は、開始されている「スーパーバイザー養成講座」の展開です。第三の「職能団体の検討」も継続してまいります。

おわりに、これまで度々申し上げておりますが、私たち音楽療法士のなすべきことは、音楽療法を必要とする社会の多くの人々に、音楽療法を届けることです。コロナ禍の中で、また新しい生活様式を模索する中で、それを一人で為すことは困難です。日本音楽療法学会は、会員同士意見を述べ合い、学び合い、力を合わせ、音楽療法を必要とする人々に音楽療法を届けるために設立されました。

学会設立の目的に再び目を向け、これからの2年間、より一層会員の皆様と力を合わせて進む体制づくりに取り組んでまいります。会員の皆様の益々のご協力のご支援を、心よりお願い申し上げます。

副理事長
土野 研治

この度副理事長に再選されました。会員の音楽療法に対する真摯な取り組みを何より重視し、学会運営を健全に行うことがミッションだと思います。一般社団法人に移行し、これまで法人として改正すべき点に取り組んできました。2020年は3月から新型コロナウイルス対策に多くの時間を割いてきました。特に熊本での学術大会、講習会では大会実行委員会と検討を重ね、オンラインでの大会になりました。

また年度内の資格試験について、Zoomを活用した会議で検討を重ねています。学会の基本は学術研究です。実践と研究の両輪をバランスよく行える環境を整えていきます。新しい取り組みとしてオンラインでの音楽療法セッションなど、今後の音楽療法の在り方も会員の皆様とともに考えていきたいと思っています。

副理事長
二俣 泉

新型コロナウイルス感染問題を機に遠隔音楽療法が広がりを見せ、音楽療法実践の形態が進化・発展する契機となりました。危機的な状況の中で「新しい打開策を見出して果敢に取り組む」ことは、クリエイティビティを旨とする音楽療法の真骨頂だと言えるでしょう。

日本音楽療法学会は、「社会の問題にクリエイティブな解決法を見出す人材」の統合体です。学会員お一人おひとりが見出し

た知見を分かち合うため、オンライン・対面の双方を活用しながら、問題解決に向けて皆で力を合わせていきたいと思っています。

日本音楽療法学会第20回学術大会を終えて

大会実行委員長 小林真寿子

日本音楽療法学会の会員の皆様、2020年10月2日よりオンラインでの開催となりました講習会ならびに学術大会には多くの申込みをいただき、誠に有難うございました。トータルで1909人の参加があり、加えて沢山のご感想や激励を頂きました。ここに心より御礼申し上げます。また一部の講演の視聴開始が遅れたことをお詫びいたします。

今回の第20回学術大会は日本音楽療法学会が20年という節目に当たり、実行委員会では「これからの20年に向けて -この国から発信できること-」というテーマで準備を粛々と進めてまいりました。本来なら2016年4月の地震から復興した熊本での現地開催を願っておりましたが、新型コロナウイルス感染のリスクを考え今回はオンライン開催となりました。日本音楽療法学会ではオンライン大会での前例がなく、すべての作業が一からのスタートでありました。有難いことに講師の先生方へのお願いもスムーズに進み、皆様快くお引き受けいただきましたことに感謝申し上げます。特に海外からお招きする予定だったケネス・エイゲン先生（ニューヨーク大学）担当の岡崎香奈先生たち、及び、カトリーナ・マクフェラン先生（メルボルン大学）担当の生野里花先生たちには、データの文字おこしから資料作成など短期間に大変な作業をご協力いただきました。今回の学術大会が無事おわりましたことは、ひとえに様々な先生方のご協力の賜物でございます。本当に有難うございました。講習会の中身につきましてはこの大会の印象記、大会長講演原稿等もご参照ください。

熊本では4年前の地震からの復興に向けて音楽療法士による支援グループを編成し、仮設住宅へ毎月ボランティアに行っておりました。この活動は今年の3月までつづいておりましたが、新型コロナ感染の広がりにてやむなく中断となりました。またフリーの音楽療法士の中には、コロナ禍の影響で失職する者も出てきました。さらにその後7月の熊本県南部の水害で、関わっておりました施設の方々が犠牲者となるなど、心が折れそうな日々もございましたが、みんなで支え合いながらこの10月を迎えました。

今回は、やむなくオンラインでの開催となりましたが、我々実行委員としては、講師の方々の『音楽療法』に関する意図が果たしてどこまでこのような形で伝わるのか懸念しております。改めて先生方の声色、間、会場の空気感、といったライブでの体験が音楽をする人として必要ではないかということを実感しております。

最後に、熊本復興を目的に熊本での大会の準備をしまいに参りましたができませんでした。地震から4年がたち少しずつではありますが、熊本も復興を進めております。7月の豪雨災害と新型コロナと再び打ちのめされましたが、社会が落ち着いた際には、どうぞ復興した元気な熊本へお出かけいただき、雄大な阿蘇や豊富な温泉をご堪能頂ければ幸いです。



第21回日本音楽療法学会学術大会(新潟)に向けて〈一次案内〉 だれかのためになることで素敵に生きられる！

—音楽療法の技法と相互交流を考える—

大会長 宮本 啓子

第21回日本音楽療法学会学術大会は、「だれかのためになることで素敵に生きられる—音楽療法の技法と相互交流を考える—」というテーマのもと、2021年9月24日(金)・25日(土)・26日(日)、新潟県「朱鷺メッセ」で開催する予定で準備を進めています。

本大会は、日本音楽療法学会が21年目を迎える年の開催です。学会のこれまでの20年は、人間の発達に例えると「個人としての成長(身長が伸び、頭脳が成長していく)」の為の時間だったと思います。これからは「大人としての成長(関係性の成長)」を目指さなければなりません。音楽療法を受け止めてくれる人、音楽療法を必要としてくれる人が増えていくことで、さらに大きく成長していくことができると考えられます。音楽療法士自身の側に立った考えのみに陥らず、音楽療法士が「誰かのためにならなければならないのか」という、社会のニーズにどう応えるかを熟慮して進むことが必要なのだと思います。

日本音楽療法の学術大会は、毎回、真摯に学び、情報交換をしようとする方々の熱気に満ちています。学会での体験を通して、参加者自身が成長し、現場の対象者に貢献したいという熱意にあふれています。この思いを結集させ、音楽療法をさらに発展させていきたいと願っています。

音楽療法という営みは、「音楽療法士が与え、対象者が受ける」という一方通行のものではなく、音楽療法士と対象者が相互に影響を与え合いながら、双方がより良い状態に向かって変化していくものとも言えます。テーマに挙げた「だれかのためになることで素敵に生きられる」の「だれか」は対象者でもあるし、音楽療法士でもあるのです。

21年目を迎える当学会ですが、学会設立前には、山松質文先生・櫻林仁先生・加賀谷哲郎先生・英国のジュリエット・アルヴァン先生といったパイオニア、そしてその後続いた多くの先人たちが奉仕の精神で積み上げてきた歴史があります。その根底には「音楽の力」と「人と人との相互交流」についての深い探究心と、多くの障がい者、戦争後の貧しい暮らしの為に笑顔を忘れてしまった子供たちを、音楽療法で助けたいという必然性があったと言えます。その中から生まれた、たくさんの音楽療法の具体的な技法や考え方を広く学ぶ真摯な気持ちを大切にしたいものです。

本大会では、この「音楽療法の技法」について、米国で独自の研究を重ねてこられたサラ・ジョンソン先生にお話しいただくことを考えています。サラ・ジョンソン先生のセッションは、私もコロラドの病院で見学させていただきました。対象者のニーズに合わせて独創的に楽器を作り出すなど、ニーズに沿って惜しみなく工夫がなされているものでした。

また、佐治晴夫先生(宇宙物理学者)から、相互交流についての基本的な考え方について、音楽と人間の存在そのものから紐解いてお話しいただく予定です。佐治先生は、NASAの宇宙船探査機ボイジャー1号と2号に載せたレコードにバッハの「プレリュード」を収録することを提案して採用されるという、稀有な経験の持ち主です。

大会企画のシンポジウムについては、複数名のシンポジストから、大会テーマ「だれかのためになることで素敵に生きられる」に沿って話題を提供していただくことを企画しています。音楽療法士に必要な技法と、相互交流に必要な基本理念について議論を深めたいと考えています。

多くの会員の皆様に、口頭発表、ワークショップ、自主シンポジウムなどにご参加いただくことを願っています。会員相互の体験や研究から学ぶことは、学会が進化する大きなエネルギーになるはずです。

実行委員会では、よい大会となるように準備を進めているのですが、新型コロナウイルスの感染拡大によっては、対面式の学会になるか、オンライン大会になるか、折衷型の大会になるか、現時点では確定できません。予定された講師をやむなく変更せざるをえないことも考えられます。プログラムが大きく変動することもありうると思います。未確定の要素が多い現状にあり、大変申し訳なく思っています。今般の状況を御賢察くださり、お許しいただきますようお願い申し上げます。

今後のコロナ禍の情勢を見ながら判断させていただき、これからの音楽療法学会学術大会を模索しながら、第21回新潟大会を信越・北陸支部の実行委員会で準備を進めてまいりたいと思います。

大会の開催がどんな形にならしましゅうとも、一人でも多くの皆様にご参加いただけますように、実行委員会一同、心を込めて準備をして参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

■ 国家資格推進委員会報告 ■

国家資格推進委員会

委員長 藤本 禮子

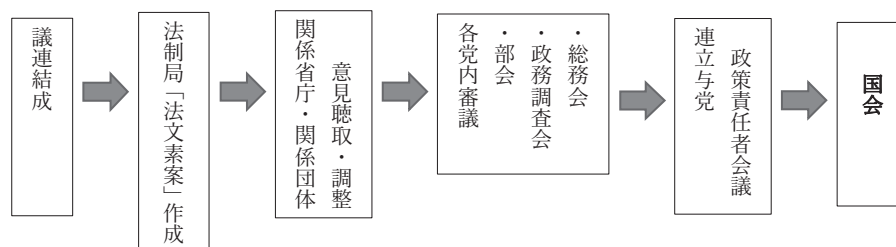
学会ニュース39号に国家資格推進委員会報告できませんでしたことをお詫び致します。39号執筆準備の時期、世界各地、日本各地では新型コロナウイルス感染症が拡大し、当学会も各種事業の中止・延期、全国各地の会員への対応などに追われました。その間、国家資格化に向けた法文案の検討を続けていましたが、コロナ禍により国会議員との直接的なやり取りが困難な状況が続きました。今回、その時期も含めて国家資格推進委員会の活動から、「法文案作成」「厚労副大臣への申入れ書：難聴児に対する人口内耳術後のリハビリテーションにおける音楽の活用について」を報告致します。

2月、MTPT 座長秋野公造議員と会見し、法文案の検討を致しました。法文案には更なる修正が必要となり再検討に取り掛かりました。委員会は、法文案の再検討に専門家の助力が必要と判断し、6月、弁護士に協力を依頼し、8月法文案は作成されました。9月、秋野議員との会見にその法文案を持参した結果、今後はその法文案を基に参議院法制局と直接話し合いを開始することになり、詳細な準備に取り掛かっています。

2019年5月、大口善徳厚労副大臣に提出した保険点数化への申し入れ書は、法文案の仕上がりに合わせ、働きかけを続けることになりました。

また秋野議員から、立法までの流れなどについて以下のような説明を頂きました。

法律成立の方法には、内閣から法案が提出され立法化される方法（閣法）と議員から提出され立法化される方法（議員立法）があります。音楽療法士の国家資格化は議員立法で進めることとしていますので、議員立法による国家資格化の法律成立までの流れをお示し致します。



国会に提出された議員立法法案は、衆・参両議院部会の審議、公聴会を経て、衆・参本会議にてそれぞれ過半数の賛成を得た後、成立されます。

音楽療法士国家資格の立法化には、このように長い険しい道のりが続きます。この道のりを乗り切るために、会員の皆様に繰り返しお願いしたいことは、

- ① 音楽療法士の国家資格化の目的は社会貢献であることを第1義とし、学会員が一丸となって国家資格化を求め続けること
- ② 会員お一人お一人が、臨床現場で音楽療法の「必要性」「有用性」「専門性」を明らかにし続け、それを社会に伝え続けること。ここでいう社会とは、学会発表や関係誌への執筆、対象者やその家族、職員、地域団体関係者、地域行政担当者、そして地域議員やマスコミなどを指します。

これまでも会員からのご紹介で複数の国会議員に面会し、国家資格化へのご協力をお願いしてきました。10月1日、関東支部会員 磯上朋子さんから国光あやの議員を紹介いただき、面会してまいりました。ホームページに掲載しましたが、以下に磯上朋子さんからそのいきさつなどお話しいただきました。

「コロナ禍で筑波大デイケアなどの活動が停止する中、地域シニアオンラインサロンからお誘いを受け、オンラインセッションに挑戦することにしました。取り組みに興味を持たれた地元の衆議院議員国光氏が、5月にはZoom画面で、7月末には直接配信現場でセッションをご視察くださいました。お話の中で、議員が医師であり高齢者福祉に熱心に取り組まれていること、厚労省で診療報酬担当課長補佐をされていたこと、音楽療法に関心を持ってくださっていることを知りました。コロナ禍の中メディア出演も多く、また子育て中のお忙しい身でありながらパワフルに活動されている議員。もしかしたら音楽療法士国家資格化にもお知恵を貸してくださるかもしれないと考え、思い切って藤本先生にご相談してみました。そのような経緯で、今回国光議員と藤本先生をおつなぎすることができました。地方からの小さな力ですが、ご参考になれば幸いです。」

磯上朋子さん、ありがとうございます。

音楽療法学会が一致団結して音楽療法士の国家資格を求め、社会が音楽療法の必要性に声を上げてくださるよう会員皆様が働きかけ続けてくださることが国家資格化への大きな力になります。

会員の皆様の益々のご支援とご協力をお願いいたします。

■ 新型コロナウイルス関連特別委員会より報告 ■

新型コロナウイルス関連特別委員会

委員 鈴木 暁子

新型コロナウイルス感染症は、2019年12月に中国で報告されたのを皮切りに世界中に感染が拡大し、このウイルスによる肺炎の高い死亡率と感染力の強さは、人類を恐怖に陥れた。日本においても感染予防のための徹底した対策が全国民の課題となり、セラピストと対象者が密接に関わる音楽療法の実施は極めて困難となった。2020年2月20日には加藤勝信厚生労働大臣からイベントの開催のあり方について、開催の必要性を検討するよう国民に求める会見発表があった。この直後、学会は正副理事長が中心となり新型コロナウイルス感染症拡大への対応を開始した。そして4月27日には新型コロナウイルス関連特別委員会が立ち上がり、その後の主な対応は当該委員会により行われた。

また4月26日、第82回理事会において、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって昨年度に比して収入が大幅に減少するなどの深刻な経済的事由が生じた会員に対して、年会費の減免措置を実施することが決定された。減免金額は、正会員の正規年会費10,000円から7,000円減免して減免年会費3,000円、学生会員の正規年会費6,000円から4,000円減免し、減免年会費2,000円とされた。この措置は全会員に文書で伝えられ、2020年6月15日から8月31日まで減免申請が学会ホームページを通じて行われた。その結果、正会員632名と学生会員3名が申請を認められ減免措置を受けた。

この未曾有の事態に対する学会の取り組みを表にまとめたのでご覧いただきたい。

月	日	政府の発表（太字）と学会の取り組み ※下線は新型コロナウイルス関連特別委員会の活動
2月	20日	厚生労働大臣が記者会見でイベント主催者に開催の必要性の検討を求める
	21日	2019年度音楽療法士認定面接・実技試験延期決定
	25日	3月7日・8日開催予定の必修講習会中止決定 HP掲載「新型コロナウイルス感染拡大に伴う学会行事について～本部支部主催研修・講習会への対応ガイドライン～（主催イベント中止ガイドライン）」
3月	23日	HP掲載「新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う学会事業の開催についてお願い」
	30日	必修講習会（5期・6期）開催の延期決定
4月	7日	7都道府県に緊急事態宣言
	15日	HP掲載理事長メッセージ「日本音楽療法学会の皆様へ～音楽療法を人々に届けていくために～」(2020年度年会費減免、遠隔音楽療法紹介予告)
	16日	「緊急事態宣言」全国に拡大 13都道府県が「特定警戒都道府県」に指定される
	24日	HP掲載渉外委員会「日本音楽療法学会会員の皆さまへのお役立ち情報のご紹介」（新型コロナウイルス感染症拡大時の音楽療法実施・休止・休業補償等に関する情報）
	26日	理事会で「2020年度年会費減免措置」を決定
	27日	<u>新型コロナウイルス関連特別委員会設立</u>
	30日	HP掲載広報委員会「遠隔音楽療法について聞くオーストラリアでの実践より～」
5月	4日	「緊急事態宣言」5月31日まで延長
	11日	HP掲載広報委員会「遠隔音楽療法の実施を考える人へ -実施における注意点のまとめ-」
	14日	「緊急事態宣言」39県で解除 8都道府県は継続
	15日	<u>「支部状況調査」実施</u>
	18日	研修・講習委員会「新型コロナウイルス感染拡大に伴う研修・講習会開催調査」実施
	21日	「緊急事態宣言」全国で解除
	26日	HP掲載「音楽療法実践・休止・開始ガイドラインに関わる情報提供① ～事業所の責任者・音楽療法士として取り組んでいること～」
6月	15日	HP掲載「2020年度年会費納入についてのお知らせ」2020年度年会費減免申請受付開始
	27日	HP掲載「音楽療法実施・休止・開始ガイドラインに関わる情報提供② ～日本音楽療法学会会員へのお役立ち情報の紹介」 オンライン講習会開催の検討（オンライン企画特別委員会立ち上げ）
7月	1日	HP掲載認定規則検討委員会「オンライン講習会の受講ポイントについて」
	2日	HP掲載更新規則検討委員会「認定音楽療法士第20回資格更新申請について」更新規則改定
	13日	HP掲載「音楽療法実践休止・開始ガイドラインに関わる情報提供③ ～コロナ禍における非常勤音楽療法士の取り組みから～」

■ 2020年度に実施予定の資格試験について ■

資格認定委員会

委員長 土野 研治

日本音楽療法学会ニュース第39号（p9～p11）に掲載した「第20回音楽療法士（補）資格審査（筆記試験）について」、「2019年度資格審査（面接試験）の延期について」、「2020年度資格審査（面接試験）について」、「2020年度資格審査（面接試験）における実技審査について」に関して、新型コロナウイルス感染症拡大による現状を鑑み、一部実施方法等を変更の上、実施する予定です。内容を以下にお知らせいたしますので、受験を予定されている方はご確認ください。

◆第20回音楽療法士（補）資格審査（筆記試験）について

2021年1月17日（日）に予定している第20回音楽療法士（補）資格審査（筆記試験）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止、及び受験生の利便性を考慮し、札幌、東京、名古屋、大阪、福岡の5会場で実施いたします。11月30日（月）必着にて申請は終了ですが、受験申請をされた方のうち希望会場の提出のない方には、事務局より個別に確認のご連絡をいたしますのでご対応ください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大等の状況により、5会場のうち1会場でも試験が実施できなくなる場合は、全会場で第20回音楽療法士（補）資格試験を延期いたします。

◆2019年度 音楽療法士資格審査（面接試験）について

延期となった2019年度の認定音楽療法士資格審査（面接試験）は2021年2月～3月に実施予定です。この試験を受験予定だった方に実施要項を送付いたしましたので、内容をよくご確認のうえ、期日までに必要な手続きをとっていただきますようお願い申し上げます。なお、2019年度面接試験に受験申請された方で書類が届いていない方は、事務局までご連絡ください。

◆2020年度 音楽療法士資格審査（面接試験）について

今般の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、実施方法を一部変更し、以下の要領で行うことと決定しましたのでお知らせいたします。

1. 試験日 2021年3月13日（土）、14日（日）、20日（土）、21日（日）
※受験日時は当学会で設定します。
※やむを得ない事情により希望日がある方は、申請時に書面（書式自由）を同封して申し出てください。
※面接試験日時の通知後の変更はできませんのでご承知おきください。
2. 試験会場 オンラインによる実施
新型コロナウイルス感染症防止策として、従来対面式で行っていた「弾き歌いによる音楽実技試験」は、事前の動画提出による審査に方法を変更いたします。「口頭試問」はオンライン会議システムを使用することにより、試験会場に来院することなく、ご自宅等インターネット環境のある場所から受験いただける方法といたしました。
3. 試験内容 口頭試問と実技試験の合計15分間（口頭試問には、論述等の試問が含まれる）
4. 課題曲 下記A群（テンポの速い曲群）、B群（ゆっくり目の曲群）の各5曲とする。
A群（テンポの速い曲群）
 - ① おどるポンポコリン さくらももこ 詞、織田哲郎 曲
 - ② 夢をかなえてドラえもん 黒須克彦 詞・曲
 - ③ 南国土佐を後にして 武政英策 詞・曲
 - ④ リンゴの唄 サトウハチロー 詞、万城目正 曲
 - ⑤ 高原列車は行く 丘灯至夫 詞、古関裕而 曲B群（テンポがゆっくり目の曲群）
 - ① 365日の紙飛行機 秋元康 詞、角野寿和・青葉紘季 曲
 - ② 時の流れに身をまかせ 荒木とよひさ 詞、三木たかし 曲
 - ③ 遠くへ行きたい 永六輔 詞、中村八大 曲
 - ④ 少年時代 井上陽水 詞、井上陽水・平井夏美 曲
 - ⑤ 君をのせて 宮崎 駿 詞、久石 譲 曲

5. 実施方法 **事前の動画提出による音楽実技試験とオンライン会議システムを用いた口頭試問**
上記A・B各群から2曲ずつ選択し（計4曲）、資格審査（面接試験）申請時に申請書に明記の上、期日までに弾き歌いの動画を指定された方法で提出してください。申請した曲の中から1曲を、面接当日に面接官が視聴し審査します。
「試験の流れ」「動画の作成、提出方法」「口頭試問に必要な環境」の詳細は12月上旬頃に学会ホームページ上に掲載いたしますのでご確認ください。
*弾き歌いの前に、自身が想定する対象者、人数、目的等を簡潔に説明し、想定場面に合った弾き歌いをする。
*弾き歌いで楽譜を見ることは可とするが、それはメロディーのみ・コードネーム・歌詞が記載されている楽譜までとし、伴奏全部が記載されている楽譜の使用は不可とする。
*演奏時間は約3分とする。
*楽譜は紙面のみとし、タブレットの使用は不可とする。
6. 使用楽器 ピアノ、キーボードまたはギター。
7. 合格発表 学会ホームページにて合格者の受験番号を発表後、可否に関わらず2021年3月末日までに受験者本人宛に文書通知する。
8. 受験資格 ①音楽療法士（補）試験合格者（過年度合格者を含む）
②日本国外の音楽療法士資格保有者
③当学会認定音楽療法士資格失効後、再度同資格の取得を希望する者
9. 受験申請 認定規則「日本音楽療法学会音楽療法士認定規則（面接試験）」を取り寄せ、それに沿って申請してください。
10. 申請期間 書類申請 2021年1月27日（水）～2月10日（水） 最終日事務局必着
動画提出 2021年2月15日（月）午前11時 ～ 2021年3月1日（月）午前11時

必修講習会（補）Bの全員 ならびに、

認定校（補）Bのうち口頭試問の資料として「小論文」を選択する方へ

- ・小論文と面接試験を実地開催しますが、実技試験は前項「5.実施方法」のとおり実施します。「事前の動画提出」が必要となり、口頭試問は会場に用意された「オンライン会議システム」を用いて実施します。
- ・試験日は、2021年3月13日（土）14日（日）のいずれか学会が指定する日時となります。
- ・会場は東京都内1か所のみとなりますのでご注意ください。具体的な試験会場名は受験票に記します。

北海道支部 — 近況 —

支部長 近藤 里美

【事務局】

〒062-0922

札幌市豊平区中の島2条1丁目3-25 カムオンビル

Email: jmta.hokkaido.reiwa@gmail.com

ホームページ: <http://www.jmta-h.jp>

○ 第37回北海道支部大会・講習会のご案内

開催日時: 2020年12月6日(日) 10:00~16:00

開催場所: 札幌大谷大学・4階響流(こーる)ホール

内 容: ① 演題発表

② 講演・ワークショップ

「ニューロダンスで生き生き Life: 楽しいと、心も体も脳も踊ります♪」

講師: 橋本弘子先生(森ノ宮医療大学 教授 作業療法士)

支部大会・講習会開催に際しましては、会場では感染防止対策を徹底するとともに、参加される方々にもご協力をお願い致します。詳細につきましては、北海道支部ホームページをご覧ください。

なお、今後の新型コロナウイルス感染状況により、変更および中止になる場合には、支部ホームページにてお知らせ致しますので、定期的にご覧いただくようお願い申し上げます。



東北支部 — 近況 —

事務局長 佐藤 香里

今年はコロナウイルス感染拡大により、東北支部でも予定していた支部事業を実施することが難しい状況が続いておりましたが、今の状況でできることを計画し、少しずつ歩み始めました。

今年度6月6日~7日に予定していました第20回東北支部学術大会は中止とし、2020年度総会は郵送での書面決議による総会として実施しました。2020年度支部講習会は、下記の日程にてオンライン講習会として開催します。支部初のオンライン講習会となることから、現在講習会委員を中心に慎重に準備を進めております。また、延期となっています第2回、第3回LSC講習会についても、支部会員の皆様により良い学びの場となりますよう、開催時期、方法を検討しております。

◆2020年度東北支部オンライン講習会

日 時: 2020年12月20日(日)

1回目 10:30~12:00 2回目 13:30~15:00

(1回目、2回目とも同じ内容となります)

定 員: 40名(各回20名)

講 師: 智田邦徳氏(一般社団法人東北音楽療法推進プロジェクト えころん代表)

テーマ: 「感染症時代の音楽と運動」

他支部会員の方の参加も歓迎致しますので、どうぞご参加ください。

詳細につきましては、東北支部ホームページをご覧ください。

東北支部ホームページ <http://jmtathhp.wixsite.com/jmta-tohoku>

関東支部 — 近況 —

事務局長 猪之良高明

1. 関東支部大会・講習会（埼玉大会）開催について

第19回日本音楽療法学会関東支部 地方大会（埼玉）は新型コロナウイルス対策のため延期とさせていただきます、2021年11月末に埼玉県浦和において開催予定です。「多様多彩～ひびけ！みんなのハーモニー～」を大会テーマに市民講座をはじめとして様々な企画で皆様をお迎えしたいと思います。

- ・市民講座 多様性を力に障がい児者を支える医療と音楽療法
講演：大橋博文先生（埼玉県立小児医療センター）
対談：大橋博文先生×高山仁先生（たかやま音楽療法研究所）
- ・シンポジウム
A：職業としての音楽療法を確立するために
B：高齢者領域で私たちが出来る事、私たちにしか出来ない事
- ・プログラム
口演発表 ポスター発表 ワークショップ ラウンドテーブル
秩父屋台囃子（「太鼓大好きどこんこくらぶ」のみなさん）他

プログラムの内容については、新型コロナウイルス対策との関連で変更になる場合があります。詳細については、関東支部ホームページに掲載しますのでご覧ください。また、関東支部会員のみならず他支部会員、一般の参加も歓迎いたしますので、ぜひお越しください。

2. 新型コロナウイルスへの対応

関東支部では新型コロナウイルスへの対応として、会員ニーズに応えるべく三役会、幹事会等で検討を重ね、いくつかの対策を行いました。

①メールマガジン

会員へのタイムリーな情報提供ツールとして、5月よりメールマガジンを開始しました。8月末現在で約850名の会員が登録し、随時情報提供を行っています。

②お問い合わせフォームの開始

会員・関係者からの問い合わせを受けやすくするためのツールとして、5月よりお問い合わせフォームを新設しました。これにより電話、FAX、メールに加えて様々な方法で会員からの問い合わせに対応できるようにしております。

③オンライン研修会

コロナ禍における研修ニーズに対応するため、会員向けのオンライン研修を開催しました。講習会受講者向けに Zoom 使い方講座を4回に分けて実施しています。

7月 Zoom 使い方講座（計4回：オンライン）

7月 関東支部講習会（計2回：オンライン）

8月 都県別講習会・山梨（計2回：対面&オンライン）

今後も定期的にオンラインまたはオンデマンドでの研修を企画してまいりますので、詳細は関東支部ホームページをご確認ください。

関東支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/>



信越・北陸支部 — 近況 —

事務局長 丸山 敬子

信越・北陸支部では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2020年度の総会は書面総会とし、支部学術大会開催を断念いたしました。また幹事会もメールや Zoom を活用しておこなっています。

また、来年の第18回支部学術大会は6月19日（土）に、長野県上田市 サントミュージゼ・小ホールで神経難病をご専門とされる相澤病院の近藤清彦先生を大会長に、「命を支える音楽療法」をテーマとして開催予定です。こちらも、実地開催の可能性をさぐりながらの準備となっています。

さらに、当支部では、次年度に開催予定の第21回全国学術大会の企画を進めていますが、コロナ禍の状況が見通せないために、迷いや不安も多い準備となっています。それでも、音楽療法の熱意を感じられる大会にしたいとスタッフ一同、力を合わせて進めていく所存です。

現在、団体登録されている研究会は9団体です。コロナ禍の影響で研究会開催を断念した団体が複数ありましたが、今後はそれぞれ開催方法を工夫して開催する予定です。

東海支部 — 近況 —

事務局長 伊藤 孝子

東海支部では現在、全ての会議を Zoom を使用したオンライン会議に切り替えております。2020年度に入り、新しく東海支部三役（支部長 鶴飼久美子氏、副支部長 菅田文子氏、事務局長 伊藤孝子氏）、および各委員を決定いたしました。

また現在、2021年3月に開催を予定しております東海支部大会（実行委員長 菅田文子氏）の準備に取り掛かっているところです。本年3月に開催予定でした支部大会はコロナ感染の状況を鑑みて中止にしましたので、今年度はなんとしても開催に漕ぎつけたいと考えております。そのために、次回支部大会はオンラインによる開催とすることを支部役員会で決定いたしました。詳細につきましては今後詰めていきますので、適宜お知らせいたします。他支部の皆様のお智恵とご経験もお聞きしながら手探りで進めていくことになるかと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



近畿支部 — 近況 —

事務局長 佃 誉子

近畿支部では2021年3月に、滋賀県大津市にて第19回近畿学術大会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現地開催はせずオンラインでの開催となりました。この近畿学術大会の開催に向けて、近畿支部総力を挙げて準備を進めています。

開催期間：2021年3月13日（土）～3月26日（金）

参加申込期間：2020年10月19日（月）～ 2021年2月6日（土）

注）申込期間を過ぎての申込および当日参加はできません。

【プログラム】

〈学術大会〉

オンデマンド形式：基調講演、自由研究発表、課題研究発表（研究発表では質疑応答あり）

ライブ形式：シンポジウム、ラウンドテーブル（チャットでの討議あり）

〈講習会（5コマ）〉

すべてオンデマンド形式（質問や感想等投稿可、5コマ全ての受講が可能）

〈その他のプログラム〉

滋賀のスポットライト企画（予定）

オンライン開催ですので他支部の方も是非ご参加ください。

詳細は近畿支部ホームページをご覧ください。（<http://www.jmtak.com/>）

2002年より発行しています『近畿音楽療法学会誌』は、原著論文や事例研究、近畿学術大会講習会の概要、ラウンドテーブルの報告記事、近畿支部活動記録を掲載しています。購読をご希望の方は近畿支部事務局（jmtak@guitar.ocn.ne.jp）、またはアカデミア・ミュージック株式会社（03-3813-6751）までお問合せください。

中国支部 — 近況 —

支部長 武田千代美

中国支部は、3月1日に、広島文教大学においてLSC講習会を予定しておりました。また、5月30日、31日の両日、山口市において第20回支部大会と第27回支部講習会を予定しておりました。いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期することとなりました。

LSC講習会は、一般社団法人日本音楽療法学会の「音楽療法臨床ハンドブック」を用いて、臨床についての学習会を予定しており、参加者の方にこのハンドブックを入手していただき、執筆者の岩永誠先生をお招きしてご講義いただくことになっていました。期日は未定ですが、この講習会は再度予定を立ててご案内する予定です。

支部大会、支部講習会は、同じ山口県内で、来年度開催予定です。日程や内容について、再度実行委員会で検討中です。

早くコロナ禍が収束して、皆様と共に勉強できる日が来ますよう祈っております。

中国支部では、支部認定の団体が二つほど増え、各地で活動されています。特に音楽療法を始めて日の浅い、若い方々が活動されることは大変に喜ばしく、その範囲をどんどん広げていってほしいと感じています。支部ホームページをご覧の上、認定団体の勉強会へも参加されてはいかがでしょうか。



四国支部 — 近況 —

事務局長 栗田 京子

四国支部の近況についてご報告いたします。

2020年9月13日にオンラインでの、四国支部学術大会を開催いたしました。今回は、担当県が香川県でしたが、現地に行かなくて良いという利点も重なり、四国四県からの参加はもちろんのこと、他支部からのご参加もいただき、定員100名という人数制限をしましたが、申し込み期日の8月末日を待つことなく、8月1日には、定員に達して、キャンセル待ちをしていただく状況でした。当日は、藤本理事長にもご挨拶いただくなど、オンラインならではの、学術大会となりました。今回は、双方でのやり取りのできる、Zoomを使用しましたので、講師の先生方にもご苦労いただきました。講義の中で、画面越しではありますが、全員でダンスをした時は、モニターを見ながら感動いたしました。研究発表の形を苦慮しましたが、当日は参加者の皆様からの質問の多さに驚き、熱心にご参加くださったことが分かり、双方でのオンラインの良さを発見いたしました。

今後、このような形での研修、学術大会が催されると思いますが、今回の問題点等を踏まえてお手伝いのできる体制を整えていく所存です。

尚、四国支部のホームページにも、今回の様子を載せておりますので、ご覧ください。



九州・沖縄支部 — 近況 —

支部長 齋藤 考由

当支部では、3年ほど前に第20回学術大会の運営を受諾したのを受け速やかに実行委員会を立ち上げました。そして2020年10月初頭には、新設の「熊本城ホール」に全国から会員のみなさんとゲストをお迎えして講習会ならびに学術大会を開催する予定で準備してまいりました。しかしながら、皆様ご承知のとおり新型コロナウイルス感染症の全国的な流行の前に、結果的には初のオンラインでの大会を開催する運びとなりました。この間、実行委員会ではギリギリまで現地開催の可能性を模索しました結果、経過中に何度も申込み開始の延期や、申し込み方法の変更などを已むなく行なうことになりました。会員のみなさんには多大なご迷惑をおかけしたことと存じます。九州・沖縄支部長ならびに大会長として、心からお詫び申し上げます。

しかしながら一方で、これまでの大会ではお仕事や家庭の事情からなかなか開催地まで足を運ぶことが難しかった会員の皆さんにとっては、自宅や職場で居ながらにして日本各地ならびに外国から招聘した講師方々の講演を視聴する機会となったことも事実です。おかげさまで参加登録者の総数は1,900名を超えて、これまでの地方における大会の参加者数を大きく上回りました。今後の学会運営を考える上で、一石を投じる機会にもなり得たとしたら幸甚です。

もちろん、音楽や音楽療法の実践は本来「なまもの」です。近々、また当支部ならびに全国の会員のみなさんと直接に交流できる日が来ますように祈念しております。

学会事務局からのお知らせ

■ 2020年度資格審査を申請される方へ

2020年度資格審査の申請（面接試験）期間や申請方法等につきましては、10ページをご確認ください。

■ 2020年度資格更新審査および猶予を申請された方へ

2020年10月30日（金）までに提出された更新および猶予申請の審査結果は2021年2月初旬までに通知されます。

■ 会費（年会費）納入のお願い

年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。昨2019年度分未納の方は、このまま滞納が解消されない場合、2021年3月末にて会費未納退会となります。未納会費がある状態で退会されますと、再入会するには通常の入会費用の他、未納会費の納入が必要となります。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円

購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円／1口

払込先 郵便振替口座 加入者名：日本音楽療法学会 口座番号：00120-9-657711

■ 「団体総合保障保険」のご案内

音楽療法士の業務保険を同封のパンフレットのとおりにご案内します。保険については加入を希望される方は冊子裏面の「保険申込FAX連絡票」を切り離し、必要事項を記入してFAX送信してください。加入依頼書が届きますので必要事項をご記入の上署名捺印をして送付してください。この保険は日本音楽療法学会会員専用として特別に設定したものです。加入者が少ない場合廃止となりますので奮って加入いただきますようお願いいたします。なお、この保険についてのお問い合わせはTEL：044-200-9421のセントラル保険までお願いします。

■ 学会ホームページからの規則書閲覧について

学会ホームページより各規則書の抜粋版を閲覧いただくことができます。メニューより「ダウンロード」を選択し、規則書ファイル（PDF）をダウンロードしてご覧ください。

■ 学会ホームページ「お問い合わせ」新設について

学会ホームページよりお問い合わせの受付を開始いたしました。学会ホームページや学会ニュースなどの広報媒体や認定規則書等の発行物で確認ができない事項についてご質問がある場合は、学会ホームページメニュー「お問い合わせ」より必要事項を入力して送信してください。回答はご記入いただきましたメールアドレスにメールで送信されます。尚、ご回答までにはお時間を要する場合がございますので、あらかじめご容赦ください。

■ 認定音楽療法士対象 ピティナとの情報共有サービスについて

一般の方々への「音楽療法士資格を保有するピアノ指導者」の情報提供を目的として、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（以下、ピティナ）との間で、学会認定音楽療法士有資格者の情報共有サービスを開始しました。条件を満たす方はピティナ Web サイト上のピアノ教室紹介ページに「音楽療法士マーク」を無料で表示することができます。ご希望の方は下記に沿ってお申し込みください。

対象者：日本音楽療法学会認定音楽療法士 かつ ピティナ会員である方。

申込方法：会員名、学会とピティナ両方の会員番号を明記の上、「ピティナ ロゴマーク表示希望」として学会事務局宛にメールをお送りください。

メールアドレス jmta.ptna@jmta.jp

注意事項：申し込み先はピティナ事務局ではございません。

申し込み後、ロゴマークの表示までに日数を要しますのでご了承ください。

認定音楽士資格が失効した場合、ロゴマークの表示は中止されます。



■ 「スーパービジョンの手引」のご購入について

スーパービジョン検討特別委員会編纂の「スーパービジョンの手引」が発行されています。（A 4 版60ページ、2015年 8 月発行）購入を希望される方は29ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B 5 版76ページ、2006年 8 月23日発行）購入を希望される方は29ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 「音楽療法臨床ハンドブック」のご購入について

学術研究委員会編纂による「音楽療法臨床ハンドブック」が発行されています。（A 4 版114ページ、2019年 4 月発行）購入を希望される方は29ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 〈DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性～〉のご購入について

一般の方に視聴していただくのに最適な15分間の音楽療法の啓発 DVD が発売されています。購入を希望される方は29ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 学会誌バックナンバーのご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバーの購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社

TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

■ 各種資料取り寄せ方法

各種資料の取り寄せを希望される方は、郵便局にて料金分の定額為替をご購入いただき、希望資料の内容を明記した封筒（例、規則書必修講習会コース 請求）に同封の上、学会事務局までお送りください。その際、送付する為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

資料		金額（送料込）
認定規則書	必修講習会	500円
	面接試験	500円
	資格更新	500円
認定音楽療法士（補） 問題解説集	2001～19年度単年度版 ※希望年度を明記してください	各1,000円
	2001～05年度、2006～10年度、 2011～15年度、五ヶ年分合冊版 ※希望年度を明記してください	各2,000円
その他	抄録の書き方	1,000円
	スーパービジョンの手引き	1,000円
	倫理ハンドブック	500円
	特別プロジェクト研究報告	500円
	音楽療法臨床ハンドブック	2,000円
DVD	音楽の力2012 ～音楽療法が拓く可能性～	1,000円
	第15回世界音楽療法大会ダイジェスト版	1,000円
学会誌、学術大会要旨集、学術大会 講習会資料集（2018年度～）	日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌 バックナンバー、学術大会要旨集（第15回世界音楽療法大会含む）、2018年度以降の 学術大会講習会資料集のバックナンバーは学会事務局では取り扱っておりませんの で下記までお問い合わせください。 アカデミア・ミュージック株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634	

■ 事務局への各種お届けについて

● 会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで文書にて区分変更の届出をお願いします。書式は自由です。正会員から学生会員へ変更を希望される場合は、学生証のコピーを添付の上、同様に事務局へ届け出てください。

※学生会員は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません。ご注意ください。

※認定をお持ちの方、必修講習会を受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

● 住所・名義変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先に変更がある方、名義を変更される方は、学会 HP から、もしくは事務局宛てに文書にて変更を届け出てください。書面で提出する場合の書式は自由です。

※学会認定資格をお持ちの方はローマ字氏名も明記してください。

■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

●音楽療法士（補）資格証明書、各種講習会受講証明書、学術大会参加証明書（第6回大会から）など
手数料：500円

●音楽療法士登録証明書、賞状

手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含まれます。

※3×4 cmの顔写真、現在お持ちの登録証明書と賞状を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書・賞状ともに再発行する場合も、一方のみを再発行する場合も手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、氏名のローマ字表記を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償で直接雇用のものに限定しますが、掲載を希望される際は、現在掲載されているページを参考に Word にて求人情報掲載内容を作成し、kanri@jmta.jp へお送りください。内容確認後、掲載可否についてお知らせいたします。掲載期間は3ヶ月です。なお、求人情報ページは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ 事務局職員の異動について

採用1名 広田 和加子（2020年7月1日付）

職位：常勤事務局長